

第134回運営委員会概要 12月18日(水) 18:30~21:10

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 2F研修室
 - ◆出席委員：新野・佐藤・高橋(武)・竹内・武本(和)・徳永・・・6名
 - ◆記録誌編集委員：川口・前田・・・2名 (敬称略、五十音順)
(欠席：石坂・三宮委員)
 - ◆オブザーバー：規制庁／内藤所長・山崎原子力防災専門官・北村原子力防災専門官
エネ庁／橋場所長
柏崎市／野澤主任
東京電力／長野副所長・西田リスクコミュニケーター・杉山課長・中林副長
 - ◆事務局：広報センター／須田業務執行理事・石黒主事
-

次回定例会内容について(1月、2月(情報共有会議)、3月)

◆1月定例会について

〈議長〉2月の情報共有会議を見据え、12月定例会の内容と関連させるかどうかも考えながら内容を検討していただきたい。

また、オブザーバーから報告していただけることはあるか。

〈エネ庁〉エネルギー基本計画について、エネルギー基本政策分科会での審議が13日に最終回開催となり、現在パブコメを行っている。

パブコメの期間は1月6日まで。最終的に1月末までに閣議決定して基本計画を定めることになっている。

地域の会でのご説明は、2月以降に行うのが妥当かと思うが、2月は情報共有会議、3月では少し時間があきすぎる気がする。どのタイミングがいいだろうか。

〈議長〉説明の時間はどのくらい必要になるか。

〈エネ庁〉骨子案の内容であれば20分程度いただきたい。

〈議長〉一度聞いただけでは、私たちもなかなか理解できないので、骨子案を一度お聞きし、時間が取れたときにさらに詳しくお聞きすることにして、何度も説明を聞くことがいいのではないかと思う。

〈委員〉エネルギー基本計画は、一番のおおもとであり絶対に説明をしていただく必要がある。

〈議長〉1月には、パブコメ以前の骨子案を説明していただき、確認や質問があるにしてもまだ議論にはならないと思うので、あとは3月、4月に、閣議決定したものを再度、説明していただくことではどうか。

(委員賛成)

◆2月定例会(情報共有会議)について

〈議長〉2月の情報共有会議の大枠のテーマは、国の姿勢に絡んだオブザーバーの考えという会話もできるし、防災に絡めて私たちの身近なことに関していろいろな話もできると思う。

防災についてのほうが身近なことなので、自治体などオブザーバーの方々へ住民としての思いを伝えやすいのかもしれないと思う。

(委員賛成)

〈議長〉地域の会としては、福島のいろいろな状況を住民の目線で見えてきたり家族で話し合ったりしてきたなかで、「こんなふうになればいいな」、「こんなことを危惧する」という住民としての意見を1月、2月に羅列していただくことがよいのではないか。

発言の中には誤解や認識不足もあるかもしれないが、住民の認識から、そういう懸念を持っていることを発信することが大切と思う。

答えをいただくとすれば、「その懸念はこんなことでカバーされますよ」という説明を後々いただいたり、「そういうことであればこのような改善ができますね」というふうにお互いが理解していくことにつながるのではないか。

例えば1月のテーマを「防災」にするのであれば、「福島の事例からこんなことが不足していたのではないかと思う」という考え方や感じ方、思いを羅列していただくことで、いずれ回答していただけることもあるだろうし、計画の中で修正や改善に生かしていただけることも夢ではない。計画ができるのはまだ先だが、計画ができたならそれを説明していただき、ニュアンスの違うところはさらに説明していただくことはできる。

昔は、一度計画ができてしまうと改善はできなかったが、常に見直すということを国も自治体も言っているので、住民は不具合だと思ふことがあれば言い続ければいいのだと思う。

1月は「防災」と「エネルギー基本計画」のことからヒントを得て、自分はどう思うのか、何を願うのかを発信したい。回答を求めるのではなく、自分はこう思う、こう願うという「意見」を述べるということをやってみてはどうか。

また、質問がある場合は最後にまとめて回答をいただくことではどうか。

(委員賛成)

〈議長〉では1月の定例会は、2月の情報共有会議に向けて、一人3分で「意見」をお話いただくことにしたい。

10周年記録誌について（経過報告）

編集委員が、レイアウトや写真選定など進捗状況を説明。

〈編集委員〉委員名簿と推薦団体を載せるページに、「会則」を追加することとしたい。

(委員了解)

〈事務局〉昨日、編集委員と打ち合わせを行い、文字の抜けや言い回しなどを検討した。今後も校正を重ね経過報告をするので皆さんからもご意見などあれば伺いたい。

〈議長〉発行までのスケジュールはどのようになっているか。

〈編集委員〉今年中には内容、レイアウトなどをほぼ決定し、年明けには、ある程度正式な形にしなごら、情報共有会議には配布できるように、予定どおり進んでいる。

(委員了解)

〈事務局〉委員コメントで、文字量に若干ばらつきがある。また、タイトルがあるものとないものがある。どうしたらいいだろうか。

〈編集委員〉現状でもページ内におさまっているので文字量が多いものは、そのままでもよいと思っている。

(事務局了解)

〈委員〉タイトルは、「これまで一番印象に残っていること」という内容でみんなが原稿を書いているのだから、タイトルを統一してページ上に記載してはどうか。

(委員賛成)

(事務局了解)

〈事務局〉記録誌の発送先についてリストを作った。部数や配布先について追加などご意見があればお知らせいただきたい。

(委員了解)

その他

〈委員〉会議の中で「・・・がこんなことを聞いたがそれは本当か」という人づてに聞いた話を発言される場合がある。人づての話はデマにしか聞こえない。会議で話すには違和感がある。

〈委員〉委員の役割には、地域の人たちが心配していることを代わりに質問することもあると思う。

その中で、例えばこの地域の人たちが福島事故の現場に借り出されて、高線量の場所で仕事をしている。年間20ミリシーベルトと決められているのに、それ以上の被ばくをするような作業になっているのではないかと相談を受けたりする。それを確かめるために、相談内容を例として質問している。

作業に関して、この地域から応援に行っている人が何人いるか、どのような作業環境なのかというのは、明らかにしておいてもらいたい気持ちもあり、会議で発言している。

〈委員〉それはわかる。質問内容はよいと思う。

〈委員〉正しいかどうかわからない、人づてに聞いたという、例えば「100ミリシーベルトを超える作業をしているらしい」という文言は会議で口に出すべきではないと思う。

〈委員〉作業環境はどのような状況か、と問えばいいのではないか。

〈東京電力〉年間20ミリシーベルト、5年間で100ミリシーベルト以内というのは変わっていない。それで作業をしていただいている。

〈委員〉それを、自分が伝えたのでは信頼に欠ける。事業者からきちんと答えてもらうことは大切なことだと思い質問している。

〈委員〉前回は質問したが、国会事故調の調査で活字にもなっている、福島事故において、一般の人たちに事故の状況について情報が伝わらない中、東京電力の社員家族や関係者がいち早く避難した、バスに乗って避難したという話がある。真実はいったいどうなのか。事実を共通にする必要があるのではないか。

このようなことを常に追求しなければいけない関係性は解消すべきではないか。

〈東京電力〉東京電力として社員の家族や関係者に避難を促したり、避難のためにバスを差し向けたりした事実はないと回答した。

〈委員〉このまま事故が進んだときに国も明確に対応できない、東京電力も正式なことを出せなかったということが問題。そのことを次に生かせるかどうかが大切。

〈議長〉これまで何回か同じ質問を聞いており、事故調の記録にもあり、新聞にも書かれていたことは覚えている。それが信憑性をもっているかはわからないが、根も葉もないことだと質問を切り捨てるとするのは違うと感じている。

東京電力は、電話やFAXなどで連絡を試みたがうまく連絡がとれず、直接、町役場に行って連絡したという回答と記憶している。

緊急時で、もしかしたら聞く側がうまくキャッチできなかったかもしれない。原子力災害ということで、もしかしたら、関係者の方は一般の方たちと同じ避難所に行くのは気詰まりになるかもしれない、一般の方たちと同じ施しを受けることは申し訳ないという配慮がどこかで働いて、それを避けることが、「逃げた」ととられることになったのかもしれない、などいろいろなことが考えられる。企業の方たちは、当事者でありながら被災者でもある。

どちらかが正しいということではなく、どちらも一生懸命対応した、両方が真実ということもあるのではないか。解明することも大切だが、よりよい改善の事象ととらえ、できるだけ感情は抑え、そこから学ぶべきことは、誰がどうしたと追求することではなく、この地域でもし事故が起きた時に、どうしたら緊急時の情報が正しく届くのか、ということを経験者として検討し、要望につなげることが地域の会としての役割ではないか。

(委員賛成)

アンケートについて

〈事務局〉次年度の地域の会活動および運営方法についてアンケートを行い集計した。回答率はあまり多くないが、いただいた意見をまとめた。

〈議長〉ここで今方針を決めるということではなく、今後の運営について継続的に参考にしていきたいと思う。

(委員賛成)

会議の日程、時間について

〈事務局〉先の話だが、4月定例会は年度の変わり目ということもあり、定例の第1水曜ではなく、第2水曜の9日としてはどうか。

(委員賛成)

〈委員〉開催時間について、午後6時半からというのは難しい面がある。最初の時間どおり午後7時からに戻していただくことを検討していただけないか。

〈委員〉今後の検討事項としたい。

〈事務局〉運営委員会から次回定例会までの間隔がおよそ1週間という時もあり、資料作成等が大変な面がある。今後、運営委員会から定例会までの間隔を長く取るように試験的に調整を行うことを考えていただけないだろうか。

〈議長〉運営委員会と定例会の間隔を均等にして、委員の負担を少なくする意味合いでの日程だった。いろいろな負担も見えることから今後検討したい。

1月は第4週に運営委員会を開催することは難しいので、定例会の翌週に行いたい。

(委員賛成)

【決定事項】

〈1月定例会タイムスケジュール〉(案)

- 18:30～19:30 前回からの動き
(東京電力・規制庁・エネ庁・県市村)
- 19:30～19:50 エネルギー基本計画 骨子案について説明
(エネ庁)
- 20:00～21:00 エネルギー基本計画案、前回の原子力防災訓練について委員意見表明
- 21:00～21:15 内容についての質問、確認等、その他

* 1月定例会時には、12月の県、市、村の防災訓練に関する資料の持参をお願いします。

次回以降日程について

- | | | | |
|------------------|----|--------|-----------------------------|
| 第127回定例会 | 1月 | 8日(水) | 18:30～21:00 |
| 第135回運営委員会 | 1月 | 15日(水) | 18:30～21:00 |
| 第128回定例会(情報共有会議) | 2月 | 5日(水) | 15:00～18:00
産業文化会館3階大ホール |
| 第129回定例会 | 3月 | 5日(水) | 18:30～21:00 |
| 第130回定例会 | 4月 | 9日(水) | 18:30～21:00
(第二水曜日です) |